

# 営農だより

## 野菜版 12号

JAふじ伊豆 御殿場営農経済センター  
2022年(令和4年)9月20日発行

☆適期管理・適期防除・適期収穫で品質の良い野菜を栽培しよう！！

### ニンニクの栽培

～冷涼な気候を好むニンニクは10月中旬が栽培適期です。  
ぜひ、挑戦してみてください！！～

#### 1. 特徴

風味と香りが立つ大きな球を育てるには、秋の肥沃な土作りとタイミングの良い追肥がポイント。また、春腐病が蔓延しやすいので、**農薬の予防散布が重要**となる。

- ・発芽適温：18～22℃（25℃以上では発芽せず、土の中で腐る原因となる）
- ・生育適温：10～22℃（冷涼な気候を好む）

#### 2. 土作り

- ・乾燥を嫌う為、肥沃で保水性の良い弱酸性(pH6.0～6.5)土壌を選ぶ。
- ・植え付けの20日前に土作りを行う。
- ・施肥・マルチ張りは、植え付けの10日前までに行う。(135cm黒マルチ)
- ・畝の高さを15cm～20cm程度に上げ、**排水対策をしっかりと行う**。

#### 3. 施肥 ※過剰施肥は春腐病の原因となるので窒素分の入れ過ぎに注意する！

	資材名	1a当り施肥量	価格(税込み)
堆肥	牛ふん堆肥	200kg	530円(15kg)
土壌改良材	苦土石灰(粒)	10kg	538円(20kg)
	粒状ようりん	4kg	2,840円(20kg)
元肥	CDU化成S555(タマゴ)	6kg	6,160円(20kg)

※本来であれば追肥が必要ですが、CDU化成S555(タマゴ)は元肥のみの施用で栽培できる為、省力化が図れます。

#### 4. 植付け・栽植密度

- ・種球はなるべく大きいものを選び、植付け適期を逃さないようにする。  
※植付けが遅くなるほど球の肥大に影響し、減収となるので注意。
- ・株間15cm×条間25cm、畝間150cm確保する。4条植え。
- ・種子リン片の芽(尖った方)を上にして1片ずつ植付ける。
- ・植付け深さは種子リン片最上部から3～4cm程度とする。  
※浅いとマルチの熱が伝わり、腐る可能性があるため注意。

#### 5. 防除 ※春腐病は発生すると防除が困難な為、①・②を交互に散布する。

薬剤名	対象病害	倍率	1a当り 使用量	使用回数	使用時期 (収穫前)	価格(税込み)
ダコニール1000	葉枯病	1,000倍	10～30ℓ	6回以内	7日前まで	980円(250ml)
①アグリマイシン-100	春腐病	1,000倍	10～30ℓ	3回以内	7日前まで	800円(100g)
②Zボルドー	春腐病	500倍	10～30ℓ	—	—	1,010円(500g)

冬場の寒風で傷ついた箇所より侵入する。(早植えによる生育過多で発生しやすい)

### ホウレンソウの栽培

播種：9月中旬～11月中旬

収穫：10月中旬～11月中旬 or 1月初旬～2月初旬

#### 1. 特徴

冷涼な気候を好み、寒さにあたると甘みが増すので秋冬の栽培が非常にオススメ。

**酸性土壌が苦手なので石灰を入れて土作りをすることが重要。**

- ①発芽適温：15～20℃ ②生育適温：15～20℃（冷涼な気候を好む）
- ③好適土壌pH：6.5～7.0（5.5以下では生育障害が発生する）

#### 2. 施肥

※ハコベ、スギナの多い畑は酸性が強い傾向にあるので、苦土石灰を増やして施用すると良い。

##### 【施肥例】

	資材名	1a当り施肥量	価格(税込み)	備考
堆肥	牛ふん堆肥	200kg	530円(15kg)	播種の2週間前に施用
土壌改良剤	苦土石灰(粒)	10kg	538円(20kg)	苦土石灰を増やす場合は15kg施用
元肥	ジシアン有機S806※	20kg	3,640円(20kg)	播種の1週間前に施用

※ジシアン有機S806の代替品として「**ニュー大八洲 1,980円(税込み)**」を使用可能。

#### 3. 播種

畝を立て、1cm程度の深さのまき溝を切って、種子を1～2cm間隔にまき、覆土をして軽く鎮圧する。その後、たっぷりと水をやることで発芽が揃う。

##### 《発芽のポイント》

###### 《良い事例》

- ・まき溝が平らだと覆土の深さが揃うため、発芽も揃う。

###### 《悪い事例》

- ・覆土に凹凸があると水が溜まり、立枯れを起こす。
- ・まき溝に凹凸があると覆土の厚さが不揃いになり、発芽も揃わない。

#### 4. 水管理と間引き

- ・発芽までは**乾かないよう水やり**をする。その後は控え目とする。
- ・間引きは本葉が1～2枚の時、本葉が3～4枚の時の計2回行う。

##### 《間引きのポイント》

間引きは**生育の遅いもの、葉形の悪いもの**を抜き取り、**葉と葉が重なり合わない程度**とする。  
狭くすると病気が発生しやすく、広くすると1株のボリュームが増すが草姿が開きやすく、  
収穫作業がしにくくなる。

#### 5. 収穫

草丈が20cm以上(適期は22～25cm)で収穫する。抜き取り収穫も可能だが、**残った株を傷める可能性もあるのでハサミ等を使う**。また、寒さに強いので霜が降りても心配はない。

#### 6. 防除

薬剤名	対象病害虫	倍率	1a当り 使用量	使用回数	使用時期 (収穫前)	価格(税込み)
ダントツ粒剤	アブラムシ類	—	600g	1回	播種時	1,190円(1kg)
ディアナSC	ハスモンヨトウ、ハマグリバエ等	2,500～5,000倍	10～30ℓ	2回以内	前日まで	3,120円(100ml)
ランマンフロアブル	べと病	2,000倍	10～30ℓ	3回以内	3日前まで	1,050円(100ml)

## ソラマメの栽培

播種：10月初旬 定植：11月初旬～上旬  
収穫：5月中旬～6月中旬

### 1. 特徴

ソラマメは**連作に弱い**為、3～4年は同じ場所でマメ科野菜の栽培を休む。  
また、旬の時期も短く鮮度の落ちるのが早い為、**収穫適期を逃さないことが重要**。

- ①発芽適温：15～25℃(10℃以下30℃以上では発芽率が悪くなる)
- ②生育適温：16～20℃(耐暑性は弱く、20℃以上では生育が衰える)
- ③好適土壌pH：6.0～6.5(**酸性に弱い**)ので苦土石灰をしっかり施用する)

### 2. 施肥

#### 【施肥例】

	資材名	1a当り施肥量	価格(税込み)	備考
堆肥	牛ふん堆肥	50kg	530円(15kg)	播種の2週間前に施用
土壌改良剤	苦土石灰(粒)	15kg	538円(20kg)	
元肥	くみあい化成13号	10kg	2,820円(20kg)	播種の1週間前に施用
追肥	燐化安S550※	2kg	4,590円(20kg)	

※燐化安 S550 の代替品として「**園芸化成 S502 2,980円(税込み)**」を使用可能。

### 3. 播種

育苗(9cmポット)、直まきのいずれの場合も**種のおはぐろを斜め下方**に向けて土に押し込み、種の頭部がわずかに見えるくらい浅まきにする。

畝幅：60cm 畝高：10cm 株間：40～45cm

※播種後5～7日が出芽する。定植が遅れると植え痛みしやすいので注意する。

**越冬時の本葉数が5枚以上だと耐寒性が弱く**、霜害を受けやすくなるので注意する。

※欠株を防ぐ為に2～3粒程まく場合、本葉が2枚くらいまでに1本間引きする。

生育の良いものを残し、他の株は株元からハサミ等で切り取る。

#### 《播種・育苗時に気をつけるポイント》

**鳥害対策**：マメ類は播種後から**鳥害被害が多く対策が必要**。特にソラマメは種が大きく栄養が豊富なため鳥害が多く発生する。

- ・畝に**不織布をべた掛けする** → **本葉が展開したらとる**
- ・**テグス線や防鳥テープをはる**

**防寒対策**：幼苗(本葉が5枚まで)は寒さに強いが、**大きく育った株は耐寒性が弱くなる**ので、無理な早まきはしないようする。適期に播種したもので、直接霜にあたると傷みやすくなる為、寒さが厳しくなる**12月中旬までに、トンネル支柱に不織布や寒冷紗を掛けるなどの防寒対策を行う**と良い。

### 4. 整枝と追肥

春になり、次々と枝が分枝・成長し開花が始まった頃、できるだけ太く節間のつまった枝を6～8本ほど残すように整枝する。整枝後、株元が隠れる程度に土を被せ、都度、追肥を行う。枝が伸び過ぎた場合は、倒伏防止の為に上部を刈り取り、再度土を掛ける。

①**整枝** → ②**土寄せ** → ③**追肥** → ④**倒伏防止対策**

③追肥は通路の両脇にまく。

④枝が倒れないように支柱を立て、枝全体をひもで囲むように縛ると良い。

### 5. 収穫

開花後35～40日。上を向いていたサヤがよく膨らんで、横～下向きになってきた頃。また、サヤの中のマメはへその部分が黒くなりだしている時が収穫適期。

**※収穫適期はサヤの色が濃くなり、光沢が出る。収穫遅れに注意が必要。**

### 6. 防除

ソラマメに発生しやすい代表的な病害虫と、その防除例を紹介します

<b>赤色斑点病</b>	早い場合は12月中に発病し、1～2月の厳寒期には病勢は進展せず小斑点のままであるが、 <b>3～4月になると急速に蔓延</b> し病斑も大きくなる。5～6月には病斑は激増して落葉する。
<b>アブラムシ類</b>	若い茎の部分やサヤや花に群生する為、生育が止まり結実が悪くなる。発生が多いと、株やサヤが枯死する。 マメアブラムシはソラマメ <b>モザイク病を媒介する為、注意が必要</b> 。
<b>ナモグリバエ</b>	被害初期は葉に白い斑点が見られ、被害が進むと葉に白いすじ模様ができる。特に <b>幼苗期に被害を多く受けると生育が著しく阻害</b> される。発生が多いと食害で葉の全体が白くなり、サヤのつきが悪くなり子実の稔実も不良となる為、かなり減収する。

**【防除例】 ●は毒劇物の為、購入の際は印鑑(認め印)・身分証明書を持参して下さい。**

薬剤名	対象病害虫	倍率	1a当り 使用量	使用回数	使用時期 (収穫前)	価格(税込み)	毒劇物
Zボルドー	赤色斑点病	500倍	10～30ℓ	—	—	1,010円(500g)	
ファンタジスタ顆粒水和剤	赤色斑点病	2,000倍	10～30ℓ	3回以内	前日まで	2,300円(100g)	
スタークル顆粒水溶剤	アブラムシ類	2,000倍	10～30ℓ	2回以内	7日前まで	880円(100g)	
パダンSG水溶剤	ナモグリバエ	3,000倍	10～30ℓ	3回以内	前日まで	780円(100g)	●

